

出産を控えた両親や祖父母らを対象にした「いのちのふれ愛講座」が16日、京都市東山区の新道児童館であつた。参加者約30人が映

像で胎児の成長過程を学び、出産への理解を深めた。

同館と洛和会ヘルスケアシステム(山科区)が、2015年から毎年開催している。

参加者は、洛和会京都厚生学校助産学科の教員の説明を聞きながら、受精の仕組みや胎児の成長、妊婦のおなかの変化などを学んだ。途中、赤ちゃんの人形を抱いたり、大きな布をかぶっておなかの中の胎児になりきつたりした。

音楽療法士による音楽会もあり、親子連れがピアノの伴奏に合わせてマラカスやタンバリンを鳴らし、癒やしのひとときを楽しんでいた。(小野俊介)

パパ・ママになる準備OK

東山で出産前講座



大きな布をかぶって胎児になりきる
参加者(京都市東山区・新道児童館)